

富山のナウマン象は小型？

科学文化センターの自然史展示室に、大きなナウマン象の全身骨格の標本が展示してあります。これは、本物の化石ではありませんが、頭の骨は千葉県下総町で、残りの大部分の骨は、北海道の忠類村というところで掘り出されたものをもとに、色も形も大きさもそっくりに作った複製です。

ナウマン象の化石は、富山県からも見つかっています。最近も一昨年从去年にかけて、大沢野町から歯の化石などが見付き、新聞等で大きく報道されたことは御存知でしょう。

ナウマン象は、今から
で、北は北海道から
日本各地にすんで

1万6000年位前ま
南は九州まで
いました。



当時のナウマン象の生きているようすは、図のような復元図に描かれています。「野尻湖のナウマン象」金子三蔵(日本の自然、(平凡社)より)

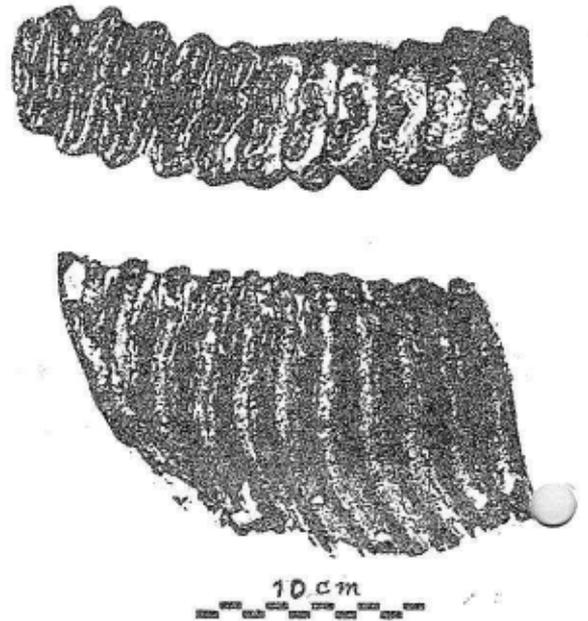
最近、大沢野町で見つかった歯の化石(図)を他の地域で見つかったものと比較してみました。

すると、今まで発見された多くのものより、ひとまわり小さいことがわかりました。歯のすり減り方から考えて、ちゃんとした「おとな」の象なのですが。

ナウマン象のなかまは、以前にも平村から発見されています。こ

れは、トクナガ象と呼ばれましたが、この歯も同じようにひとまわり小さいのです。これらの原因に

ついては、よくわかりませんが、富山あたりには比較的小型のナウマン象がすんでいたのかもしれません。大沢野町で発見された化石は、発見者などの方々の御好意で、大部分が富山市科学文化センターに收藏されることになりました。そしてその一部は、自然史展示室に展示される予定です。また見に来て下さい。(H.A)



大沢野町で見つかったナウマン象の歯
上：上からみたところ
下：横からみたところ

富山市科学文化センター
〒930-11 富山市西中野町3丁目1番19号
TEL 富山 (0764) 91-2123
○付属天文台 富山市五福8番地
☎ (0764) 32-3334

○開館 午前9:00~午後4:30
最終プラネタリウム3:40より放映
○入館料 大人200円 小人100円
○休館日 月曜日・祝日
(ただし5月5日と11月3日は開館)